



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

Vol. 1

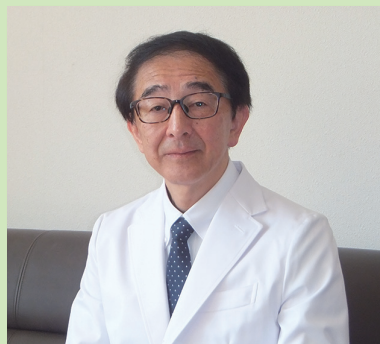
せせらぎ

～ 小川赤十字病院広報誌 ～



ごあいさつ

院長 竹ノ谷 正徳



小川赤十字病院院長の竹ノ谷正徳です。

このたび「病院ニュース」あらため、小川町という町名に寄せて「せせらぎ」という題名で病院の話題や患者さん、地域の先生方に向けた情報を発信させていたいただきます。

さて、昨今、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、欧米諸国では医療崩壊が起き、日本でも毎日、感染者数と死者数が発表され、医療崩壊が懸念されておりました。

政府は、4月7日に緊急事態宣言を発令して、密閉、密集、密接の3つの密を避け、人と人との接触を80%減らすため、特定の業種での営業自粛を要請したり、在宅勤務を呼び掛けたりしました。また、多くの人が外出を自粛するとともに、一部で不織布マスク、手指消毒液、トイレレットペーパーなどが、転売目的で買い占められるなど社会に大きな混乱をもたらしました。この買い占めによって、多くの医療機関が物資不足に陥り、当院もその例外ではありませんでした。

同時期、ノーベル文学賞作家のカミュが著した小説「ペスト」がベストセラーになりました。この小説は現代の世相を映したかのような内容が話題とな

りましたが、同時にペストの脅威に民衆が団結して立ち向かう姿が描かれました。

現代の日本社会でも、医療崩壊を防ぐため、医療機関に多くの支援が寄せられました。当院に対しても、多数の方から現金、不織布マスク、菓子、飲料などの貴重なお志を頂戴いたしました。新型コロナウイルス感染症に立ち向かう病院スタッフの勇氣となりました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

また、当院では、病院一丸となって発熱した患者さんへの対応や外来患者さんへの検温、病院出入口の開錠時間を遅らせるなどの対策を徹底してまいりました。こうしたことが奏功してか、当院では何とか院内感染も起こさずに診療を継続できております。これも患者さんや地元の方のクリニックの先生方の深いご理解とご協力の賜物と感謝いたしております。

政府は、5月25日に約1か月半ぶりに緊急事態宣言を解除しましたが、新型コロナウイルス感染症の第2波、第3波の襲来も懸念されています。皆さまの引き続きのご理解とご協力をお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症対応に迫られ、桜の季節に気づかずにいましたら、すっかり日差しも強くなり、紫陽花が色づきはじめる、熱中症の患者さんが増えてまいります。

水分補給、休養、適切な冷房の使用などを心掛け、これからの季節を乗り切つてまいります。



目次

院長挨拶	1	放射線機器が新しくなりました	4
患者サポートセンター開設のお知らせ	2	“せせらぎ” について	4
禁煙外来が始まります	3	ご案内	4
栄養課レシピ「酢の力」	3		

基本理念

患者さんの安心と満足のために、地域の中核病院として総合的な医療を提供します。

小川赤十字病院では、開業医の先生方、病院など地域の関係機関と連携・分担し、地域一体となり患者さんへの支援を行っております。

このたび当院では、この機能をさらに充実させるため、2020年1月1日より「患者サポートセンター」を開設しました。患者サポートセンターは、従来からあった地域の先生方との連携窓口業務を行う「医療連携室」、入院前から退院までの療養支援を行う「入退院支援室」、入院や外来通院にかかる不安や困りごとの相談をお受けする「医療福祉相談室」の3つのセクションを統合し、それぞれの領域で支援するスタイルから、医師・看護職・社会福祉士・事務職員等が一つの組織となり、患者さん・ご家族を支援してまいります。

組織再編により、近隣医療機関からのご紹介・逆紹介の推進、退院・転院の推進、地域医療連携体制の支援（地域連携バス）はもちろんのこと、在宅療養、転院支援（医療・福祉・行政機関との連携）、継続的な生活支援を強化していきたいと考えております。

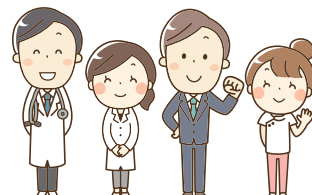
患者さんのご紹介、入院決定から入院時、入院・療養中、退院、退院後の生活に至る各プロセスを一貫して「患者サポートセンター」が行うことで、患者さん・ご家族に安心していただき、地域医療連携が円滑に推進されることをめざしてまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

患者サポートセンター

医療連携室

医療福祉相談室

入退院支援室



禁煙外来始まります

慢性呼吸器疾患看護認定看護師 太田 了介

皆さんもご存じの通り、昨年7月に健康増進法が改正され、4月には原則屋内禁煙となりました。これにより様々な施設で屋内禁煙（病院は、屋外を含めた敷地内全面禁煙）となり、愛煙家にとってはとても肩身の狭い思いをしていることと思います。

さて、法律が改正されたことで地域でも路上喫煙に関する条例において過料を設けたりと政府・民間ともに時代は禁煙に向けて動いており、当院でも2020年1月より内科外来にて禁煙外来を開設することといたしました。

禁煙外来とは、一定の条件を満たせば健康保険を使って治療が受けられ、12週5回の受診で禁煙を目指すものです。これまで一度でもタバコをやめようと思っただけ、自分一人で禁煙をしようとする成功率は20%以下と言われていた禁煙外来で薬の力を借りつつスタッフとともに禁煙を目指すことで成功率は70%〜80%になると言われています。タバコがやめられないのは、ニコチンという物質が麻薬にも劣らない強い依存性を持つからであり、これは「ニコチン依存症」という治療が必要な病気であるとされています。

またタバコを吸うことで動脈硬化が原因で起こる心疾患や脳卒中、また多くのガン（肺癌）のリスクとなり、身体にとって有害であることが知られています。加えて、現在は、新型コロナウイルス感染症が大流行しています。志村けんさんがこの感染症で亡くなったことが大きく報道されましたが、志村さんはヘビースモーカーであったことが、重症化に大きく関係したのではないかと報道もありました。近年、タールを含まない加熱式タバコ（IQOS等）が流通するようになり、「体にやさしい」、「マイルド」、「安全」などといった言葉がパンフレットなどで使われていますが、これもWHOでは紙巻きタバコと同様に有害であるという報告をしており、加熱式タバコに変えたからといって禁煙していることにはなりません。また、当事者の問題だけではなく、副流煙の問題も深刻です。自分のために、家族のために少しでも禁煙について考えておられる方は是非、内科外来へご相談ください。



酢の力

管理栄養士 藤川 薫

今年、栄養の面では、「日本人の食事摂取基準」が改訂される特別な年となります。この日本人の食事摂取基準は、5年ごとに改定を行っており、健康の保持増進、生活習慣病の予防を目的とし、エネルギー及び各栄養素の摂取量について1日当たりの基準を示したものです。塩分量の改定も行われました。高血圧や慢性腎臓病の重症化予防のための食塩相当量は男女とも6g未満です。健康者の1日の目標食塩量が0.5g引き下げられ、男性7.5g、女性6.5gとなり、より塩分制限食に近づいた目標値となっています。当院では高血圧や心疾患のある方には塩分6g未満の食事が提供されています。

味が薄いと物足りなさを感じる方も多くいらっしゃると思います。そこで、塩分を控えるために「酢」を利用してみてはいかがでしょうか。酢は原料や製法により沢山の種類があります。代表的な米や玄米から作られる穀物酢や、林檎等が原料の果実酢などです。製法によって、麹菌や酢酸菌を加えて発酵させた醸造酢と、酢酸を水で薄めアミノ酸を加えた合成酢に大別できます。酢には血圧上昇に関わるホルモンの働きを抑制する効果があり、高血圧の予防を期待できます。更に塩分を減らしたい時に物足りなさを補う調味料として利用すれば一石二鳥となります。

血圧を下げるためには1日に大さじ1杯（15ml）を摂るのが効果的です。味付けの薄い料理にかけて食べたり、酢の物や甘酢炒めなどにして召し上がるのもお勧めです。酢には他にも内臓脂肪を減少させたり、疲労回復に役立ったりと良い効果があります。上手に「酢の力」を活用してみてください。

当院の酢を使用したお勧め料理

マリネ



材料1人前

ホキ（他の魚鶏肉などでも）	70g
塩	0.5g
片栗粉	7g
油	7g
砂糖	5g
酢	10g

作り方

- ①ホキに塩を振り下味をつける。
 - ②砂糖、酢を鍋に入れ火にかけマリネ液を作る。
 - ③①で下味をつけたホキの水気をペーパーでとり片栗粉にまぶし、180℃の油で揚げ、②で作ったマリネ液に漬ける。味が馴染んだら盛り付ける。
- * 玉葱や人参のスライスを入れても美味しくいただけます。



放射線機器が新しくなりました

— Canon Ultimix-i —

今回、より安心・安全な医療を提供すべく、13年間使用した装置の後継最新機種となるCanon Ultimix-iを導入しました。

この装置は、しなやかな動きで多方向からの観察が可能なCアームタイプであり、従来の装置よりも大視野でゆがみのない画像を得ることが可能です（17×17インチ フラットパネルディスプレイ搭載）。通常のX線TV装置では抽出しにくい部位の画像を容易に得ることができ、患者様や健診受診者様の負担を軽減できます。また、新開発のリアルタイム画像処理技術と低線量検査のための数々の技術により従来よりも照射線量が65%低減されており、高画質と低線量の両立を高い次元で実現した装置です。

造影剤（バリウムやヨード造影剤）を用いた消化管の観察や撮影、動体観察を目的とした嚥下造影検査、その他ヨード造影剤を使用した外科・泌尿器系の検査や整形領域での動体観察・整復術など、様々なX線検査に対応可能です。

この装置は「一般社団法人日本損害保険協会寄付金（自動車損害賠償責任保険運用助成金）による2019年度交通災害等救急医療機器整備事業」により整備されました。



“せせらぎ”について

小川町の「小川」から、せせらぎのように皆様の心を癒せるようにと院内公募からこのタイトルを選びました。

ご 案 内

5月末時点、当院では新型コロナウイルス感染症対策として、入口での体温チェックや南玄関の封鎖、外来診療日の出入口開錠時間の変更、中央病棟前駐車場（第4駐車場）の利用時間制限を行っております。今後の動向により変更もございますが、ご理解ご協力をお願い申し上げます。最新の状況は当院ホームページ「新型コロナウイルス感染症関連ページ」をご覧ください

診療受付時間

8:30～12:00（土曜日のみ11:30まで）

※なお、眼科については8:30から11:00までとなります。
（土曜日は11:30まで）

※再診の方は、再来受付機により8:00から受付けております。
※紹介状をお持ちの方は直接、医療連携室（本館2階）へお越しください。

下記の診療科の詳細につきましては、診療担当表をご覧ください。
皮膚科・耳鼻咽喉科・産婦人科

休 診 日

第2・第4・第5土曜日、日曜祝日、
年末年始（12月29日～1月3日）、創立記念日（5月1日）

受診に際して

各診療科の特殊外来（乳腺外来を除く）は、予約制の為、始めに一般外来の受診をお願いしております。診療日等詳細については各科外来にお問い合わせください。特殊外来の他、一般外来でも専門分野がございますので、お気軽にご相談ください。
※当院では紹介状をお持ちでない患者さんにつきましては、国の定めに基づく選定療養費2,200円をご負担いただいております。当院受診の際は、紹介状をお持ちいただきますようお願いいたします。

お呼び出しについて

内科・外科・整形外科外来では、受付票の番号にてお呼びしております。

急病等の時間外診療について

平日は16:45から翌日8:30まで、第1・3土曜日は12:30以降、休診日は終日、必ず電話連絡の上ご来院ください。
また、保険証・診察券（お持ちの方）・現在飲んでいるお薬等をご持参ください。

なお、当院の救急外来は、地域の緊急患者の受け入れを行っているため、救急医療の機能向上を目的として、緊急性を要しない（いわゆる軽症の）患者さんの時間外受診には、令和元年12月2日より原則時間外選定療養費2,200円をご負担いただいております。通常の診療費に加えてご負担いただいておりますので、ご理解をお願いいたします。詳しい内容については医事課までお問い合わせください。

受付票	
この番号でお呼びします。	
受付番号: 433	
2019/02/08 11:42 発行 HD-GR03	
患者番号	90-0028-5
性別	男
氏名	日赤 太郎 様
【受 診 科】	外科
【医 師】	
【診療内容】	診療
【予約時間】	
受付は完了しました。	
小川赤十字病院	

病院情報は こちらから

ホームページ <http://www.ogawa.jrc.or.jp>

携帯電話でQRコードを読み
取ってアクセスしてください



スマホ用



携帯用

せせらぎ ～小川赤十字病院広報誌～ Vol.1 令和2年6月

編集発行：小川赤十字病院広報広聴委員会

発行所：小川赤十字病院 〒355-0397 埼玉県比企郡小川町小川1525 Tel.0493-72-2333 Fax.0493-72-2755

印刷：株式会社システムジャパン

